

学びや

タイムスリップ

昭和天皇即位の礼が京都
御所で行われ「御大典」
の奉祝ムードが京都中を
包んでいました。記念事
業が各所で行われるな

か、学校には、図書館のなどをし
設立や育英資金の造成、が、京都
校舎の改築や設備の改善
などが御大典記念として 札奉祝誌
府や市から望まれまし 京都市役
た。 ています。
中京区

たりしたことが子どもたちを守り、災厄を防ぐ力があることを実証したことである。この明倫小（現京4年）の大正天皇即位の際に市編『京都市大害に強い鉄筋校舎の重要な特徴』（1930年）に記載されました。

すれも祝いのモチーフとなつてゐます(写真②)。

府や市から望まれましていま
た。

いいます。また、1915(大正4)年の大正天皇即位の
中京区の明倫小(現京華藝術センターハウス)では校
名は「御大典記念」

は児童文庫を設置した。倉全部を改築し、それまでの木造和風建築から一新した。左京区の錦林小に場の拡張や奉安殿の設置新、鉄筋コンクリートのは御大典記念書画帖が所

泉回遊式庭園を備えた白
沙村荘という邸宅を構え
ていました（現在は白沙

包んでいました。記念事
業が各所で行われるな

学区あげ改築や作品制作

校舎が完成しました(写真)。蔵されています。全員で

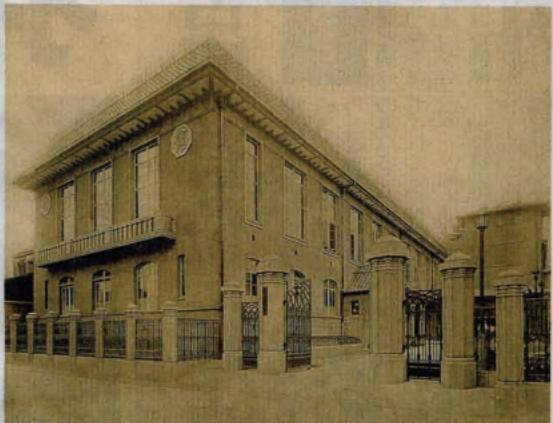
て公開)。学区をあげての作品制作だったのです。

真① この時期に市内の学校では鉄筋校舎への改築が盛んに行われ、いわゆる御大典記念校舎が建てられたのです。雪や石崎光瑠など近代京派の書家や画家が寄り合って、それぞれの作品を一つにまとめたもので、その中には、橋本関雪の

京都にどでて一大イベントであった御大典。校舎や美術品から、当時の人々の喜びぶりが伝わってきます。

この後、1934（昭和9）年に超大型の温室が京都を襲ったときには、新しくできた校舎には、菊花を描いており、い

(京都市歴史博物館 学芸員 森光彦)
II次回は1月10日掲載の予定です。



写真②、橋本関雪「舊江山之図」写真③、石崎光瑤「菊花図」（ともに1915年、錦林小藏）